

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	23	入居している方が何故入居するに至ったのか、それを踏まえ私たち職員の役割は何なのかを自覚することが出来ず、目の前の認知症症状のある高齢者だけ見て仕事をしている。	入居者が、大好きな家や家族と離れて生活していること、誰もが認知症ではない生活を送っていたこと、自分より一回り以上若い知らない職員に敬語を使われずに指示されていること、すべての職員がこれらのことを自覚できるようにする。	目の前にいる方(入居者)はずっと認知症だったわけではなく、私たち職員と全く同じであることを意識をもって認識し、本人や家族にもっと寄り添えるように毎日取り組む。	12ヶ月
2	38 39	今年の大地震や津波警報がまた起こったとき、何も出来ないということがないようにする。	小さなことでも決まり事をつくり、実行する。	今年1月のような大地震が再度きたとき、建物の中にいることが安全なのか、リスクを負ってでも入居者に外に出てもらおうのかなど、分かりやすい決まり事を1つでも多く作っていき、職員間で共通認識を持つ。	24ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。